

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日 令和2年1月29日

評価機関 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

評価実施期間 令和元年6月21日～令和2年2月29日

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	加久藤保育園	種別	保育所
代表者氏名	紫雲 眞弓	定員(利用人数)	60
所在地	〒889-4223 えびの市大字永山3-2	TEL	0984-35-0189
		FAX	0984-35-0189
ホームページ	なし		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

- 1 子どもの主体性・個性を伸ばせるよう自発性を重視した保育を目指しており、同時に体験・対話を通して集団生活を学ばせるための保育が展開されています。また、子どもの家庭、保護者との連携を重視し、朝夕の送迎時における保護者との対話、連絡に努力しており、保護者会への協力「園便り」など各種広報にも力を尽くしています。
- 2 保育内容の向上を図るため、クラス担当の保育士間で定期的に短期間、他クラスを担当させる交換研修を実施していますが、新たな視点で保育業務の点検・評価が行われることにより全体的な保育レベルの向上に繋がり、資質の向上及び人材育成に寄与しています。
- 3 重度障がい（知的及び肢体）のある子どもが在籍しており、専任のスタッフが保育支援を行っています。また、地域の児童発達支援事業所等とも常に情報交換を行うとともに、来年から支援学校に通うため、バスに落ち着いて乗車できるように外部の関係者とも連携し、保育支援を行っています。

② 改善が求められる点

1 毎年度の事業計画は策定されていますが、中・長期計画が策定されていないので、当施設の掲げる理念・基本方針を着実に実現していくためにも、今後の経営環境や課題等を踏まえた中・長期事業計画の策定が望まれます。

2 働きやすい職場づくりの観点から、園内での情報伝達・共有や各種記録の保存、事務処理の迅速化などを図るため、ICT（情報通信技術）機器の活用の検討が望まれます。また、ホームページは外部への広報、保護者等への連絡などの面で有効な手段と考えられますので、開設の検討が望まれます。

3 保育園における業務やサービスは、どの職員が担当しても同じ方法、同じ内容で行われる必要があります。また、マニュアルの作成は、業務を標準化させるだけでなく、リスクの発生等を最小限のものにするため、標準的な実施方法が記載されたマニュアル作成やその内容を見直す仕組みを構築することが望まれます。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受けることにより、利用者からのご意見（アンケート）にて、ご意見を聞かせて頂く機会を作って頂いた事により、利用者の気持ちに寄り添う保育環境づくりを整える良い機会となりました。併せて、全職員が保育について改めて学ばせて頂いた事や考えさせられた事もあり、ひとりの保育士として自分自身を見つめなおす機会となり、大変有難いことでした。今後も、引き続き、園児・保護者が利用しやすい保育環境づくり検討しつつ、職員が働きやすい職場づくりをめざしたいと思います。ありがとうございました。

2 施設・事業所情報

経営法人・設置主体	社会福祉法人 えびの福祉会
開設年月日	昭和41年11月26日
理念・基本方針	基本理念・・・生命の尊重を基本とし、 ①安心と信頼を提供します。 ②人としての人権を尊重し、人間としての尊厳を守ります。 ③地域とともに生きる「輪」を大切にします。 ④人材育成と健全経営を目指します。 ⑤プライバシーを保護堅持します。

	<p>基本方針</p> <p>①「保育所保育指針」に依拠し、子どもの人権を尊重すると共に主体性・個性を伸ばしていく保育を行います。</p> <p>②家庭と緊密な連携のもとに、子どもの状態や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行います。</p> <p>③保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。</p> <p>④一人一人の職員の資質向上及び職員全体の専門性の向上に努めます。</p>
事業内容	乳児保育、延長保育、障がい児保育、一時保育、
職員数	<p>常勤職員数 12 名</p> <p>非常勤職員数 3 名</p>
専門職	<p>(専門職の名称) 保育士 11 名</p> <p> 栄養士 1 名</p>
施設・設備の概要	<p>敷地面積 2191㎡ 建物面積 624㎡</p> <p>保育室3、乳児室1、遊戯室1、調理室1、食堂1、職員室1他</p>
特徴的な取組	<p>事業の目的として</p> <p>●子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培う。</p> <p>保育方針として</p> <p>●命の大切さを学び、心の優しい情緒豊かな子どもを育てる。</p> <p>「健康教育・遊びを通じた知育・芸術的感性」など豊かに生きるための基礎が身に付くようにします。また、「非認知能力」「主体的、対話的、深い学び（アクティブ・ラーニング）」を重視します。</p> <p>上記の目的と保育方針を基に、保育目標として、「一人ひとりの個性を尊重しつつ、自発活動を中心としてのびのびとした保育を目指します。</p>

詳細は別紙「評価結果表」を参照。

評価結果表（加久藤保育園）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

1	I-1-(1)-①	評価
理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		a
評価コメント	理念、基本方針は園舎玄関に掲示されており、全ての保護者を対象とする年度当初の参観日において理念、基本方針を記載した資料を配布し、説明しています。職員への周知も図られています。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

2	I-2-(1)-①	評価
事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		b
評価コメント	地域の福祉事情、保育事情を把握し、経営に反映していくよう努めています。	

3	I-2-(1)-②	評価
経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		a
評価コメント	施設の経営課題、問題点については、園長、主任、事務長からなる幹部会で対応しており、法人全体においても各施設の園長、主任からなる会合で協議が行われています。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

4	I-3-(1)-①	評価
中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		c
評価コメント	現在施設幹部において策定へ向けての検討が行われていますが、施設が掲げている理念、基本方針を実現していくためにも策定が望まれます。	

5	I-3-(1)-②	評価
中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		C
評価コメント	毎年度の当初に、運営、保育、給食、施設整備に関する目標や課題が明記された事業計画が策定されていますが、中・長期計画を踏まえた計画ではありません。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

6	I-3-(2)-①	評価
事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a
評価コメント	職員の意見を反映した計画策定が毎年行われており、実施状況の把握や評価による見直しも実施されています。職員への周知も図られ、業務遂行の方針ともなっています。	

7	I-3-(2)-②	評価
事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		a
評価コメント	施設の広報誌である「園便り」に記載し、保護者への計画内容の周知、説明が行われています。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

8	I-4-(1)-①	評価
保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		b
評価コメント	常に保育の質の向上を図るため、職員会議、連絡会、週間計画協議などの場において、反省点、ヒヤリハット事例などを検証して改善に反映させています。	

9	I-4-(1)-②	評価
評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		a
評価コメント	施設全体の課題については、職員全員で共有することとし、職員個人は毎年セルフチェックリストによる自己評価を行い、園長、主任との面談の中で課題の解決に取り組んでいます。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

10	II-1-(1)-①	評価
施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		a
評価コメント	施設長は経営の指針を明確にし、職員への理解浸透を図っています。また事務分担表により自らの役割と責任を明確にしています。非常時の権限委任について関係規程が策定されています。	

11	II-1-(1)-②	評価
遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		a
評価コメント	業務全般の中でコンプライアンスの徹底に取り組んでおり、職員にも就業規則など関連規程の遵守を指示しています。新任者に対しては遵守の重要性について別途教育を行っています。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	II-1-(2)-①	評価
保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		a
評価コメント	職員との面談の中で課題を探り職員を育てる姿勢で指導しています。また園内での保育士によるグループ研修や法人内での合同研修により職員の資質の向上を図っています。	

13	II-1-(2)-②	評価
経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		a
評価コメント	施設長は法人全体の統括責任者であり、経営の改善や働き方改革、研修の推進に取り組んでおり、職員へのアンケートも行われています。	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	II-2-(1)-①	評価
必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a
評価コメント	地域的に人材の確保が難しい状況があるが、合同採用制などにより新卒の確保に努めています。なおOJTや研修派遣などにより職員の定着化にも取り組んでいます。保育士は正規職員が多く、在職年数も長いものとなっています。	

15	Ⅱ-2-(1)-②	評価
総合的な人事管理が行われている。		b
評価コメント	期待する職員像を明確にしていますが、明確な勤務評価基準は定められていません。配置換えについては本人の希望も定期的に聴取しており、法人内他園との人事交流も行われています。	

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ-2-(2)-①	評価
職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		a
評価コメント	働き方改革の一環で、「事務処理日」を設け勤務時間内に園内で事務整理に専念できるようにして、時間外労働の低減に努めています。上司によるメンタルヘルスの管理も行われています。	

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-①	評価
職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		b
評価コメント	「期待される職員像」が示されており、毎年「職員個人面接表」による面談が実施され、面接表の中では個人毎の目標等も掲げられチェックが行われています。	

18	Ⅱ-2-(3)-②	評価
職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a
評価コメント	毎年、年間研修計画が策定されており、策定に当たっては過去の研修履歴、専門性、習熟度を考慮して派遣しています。研修受講後は復命書作成、園内回覧とともに伝達研修も実施されています。また臨時職員の研修受講も配慮されています。	

19	Ⅱ-2-(3)-③	評価
職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a
評価コメント	職員には毎年各研修機関の研修メニューを提示し、本人の希望も聴いています。施設ではキャリアアップの研修を計画的に受講するよう指導が行われています。職場ではOJT研修も実施されています。新卒者に対しては主任が担当し指導に当たっています。	

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ-2-(4)-①	評価
実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		b
評価コメント	実習生マニュアルがあり研修記録も取られています。指導にあたる職員の研修は行われていません。受入れは職員の刺激にもなり、指導力の向上にも繋がると考え積極的に受け入れています。現在は中高生の実習も受け入れています。	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21	Ⅱ-3-(1)-①	評価
運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		b
評価コメント	「園便り」などの広報誌により理念、基本方針、事業計画などの内容が外部に公開されています。	

22	Ⅱ-3-(1)-②	評価
公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		b
評価コメント	経理、取引等に関して、外部会計事務所によるチェック、指導が継続されています。	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	Ⅱ-4-(1)-①	評価
子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		b
評価コメント	園外でのマナーや挨拶遂行など、子どもの社会性育成推進の観点から、デイサービスを受けている高齢者との交流活動を続けており、地域のイベントにも参加しています。	

24	Ⅱ-4-(1)-②	評価
ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		b
評価コメント	マニュアル等は整備していますが、ボランティアについては申し込みもなく実績もありません。	

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	Ⅱ-4-(2)-①	評価
	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
評価コメント	保育所として必要な関係機関のリストアップ、掲示が行われています。関係機関による連絡会議に参加するなど連携も図られています。「気になる子」への対応について市の巡回相談を活用しています。	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	Ⅱ-4-(3)-①	評価
	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
評価コメント	園児以外の家庭の子育て相談、一時預かりなどにも対応しています。地域のまちづくりやイベントなどにも協力しており、地域防災訓練にも参加しています。また、申し込みがあれば園庭を開放する方針です。	

27	Ⅱ-4-(3)-②	評価
	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
評価コメント	保育所の専門性を活かした相談事業は実施していますが、子育て以外の福祉サービス分野までの活動には対応していません。	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

28	Ⅲ-1-(1)-①	評価
	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
評価コメント	子どもを尊重した保育を実践するため、園内の種々の会合で「個」の持つ特性を伝達、共有することとし、保護者とも連絡を密にするよう取組んでいます。虐待などの予兆がないか子どもの身なり、朝食摂食状況の観察をしています。	

29	Ⅲ-1-(1)-②	評価
	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
評価コメント	個人情報保護規程や虐待対応マニュアルが策定されており、また職員への周知も行い理解が深まるよう取組んでいます。	

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30	Ⅲ-1-(2)-①	評価
利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。		a
評価コメント	「園便り」などで保育方針や保育内容を情報提供しており、利用希望者や見学希望者に対しては懇切に対応しています。各種広報資料は保護者等が親しみやすいようできるだけ手書きで作成を行っています。	

31	Ⅲ-1-(2)-②	評価
保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		a
評価コメント	年度当初に新入園の保護者には重要事項説明を行い、保育の変更等に際しては説明会などを開催し、同意を得たうえで書面を作成しています。また重要事項説明書は園内に掲示しています。	

32	Ⅲ-1-(2)-③	評価
保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		a
評価コメント	他園等への引継ぎなどに際しては、「申し送り事項書」を作成し、保育の継続性が保たれるようにしています。また卒園、転園した利用者にも相談ができるよう窓口を設定しており広報も行っています。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33	Ⅲ-1-(3)-①	評価
利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		a
評価コメント	定期的に行われる保護者座談会には職員も出席し、保護者の意見・要望の把握に努めています。また園行事の実施後にアンケートを行い、内容をその後の運営に活かしています。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-①	評価
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		a
評価コメント	苦情対応マニュアルが策定され、更に取扱い手順の詳細を定めたものも文書化されています。園舎には苦情や申出の受付を明記した掲示もされています。苦情対応の第三者委員も設置されています。	

35	Ⅲ-1-(4)-②	評価
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		a
評価コメント	「入園のしおり」に意見、要望、苦情に関する相談に応じる旨の記載を行っており、相談先も複数明記し利用者側の選択が可能となっています。苦情受付制度については園舎に掲示もしています。	

36	Ⅲ-1-(4)-③	評価
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		b
評価コメント	保護者対応マニュアルとともに取扱い要領を詳細に規定した文書が作成されており、その相談記録も残されています。意見等については内容を検討し保育の向上に繋がるよう改善に努めています。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-①	評価
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a
評価コメント	リスクマネジメント責任者を施設長とし、手順等定めた危機管理マニュアルを策定しています。業務上のヒヤリハットは職員会議等で報告し対応を協議するなど共有に努め改善に取り組んでいます。また月1回施設・設備の安全点検を行い事故の未然防止に努めています。	

38	Ⅲ-1-(5)-②	評価
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		a
評価コメント	感染症対応マニュアルが策定され、予防や発生時の対策が規定されています。また「入園のしおり」には感染症に関する登園基準が掲載されるとともに登園要領など注意事項が記載されています。保護者には文書あるいは園掲示板により情報提供が行われています。	

39	Ⅲ-1-(5)-③	評価
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		a
評価コメント	防災計画が策定され、月に1回避難訓練を実施し、訓練の状況も記録されています。避難場所・避難ルートも定められており、地元の防災訓練にも参加しています。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-①	評価
保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。		C
評価コメント	園全体のデイリープログラムはありますが、保育時の留意点や業務手順等を含めた標準的な実施方法が明文化されていませんので、今後マニュアル等作成される事が望まれます。	

41	Ⅲ-2-(1)-②	評価
標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		C
評価コメント	保育時の留意点や業務手順等を含めた標準的な実施方法を明文化すると同時に、検証や見直しについてのシステム作りも望まれます。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-①	評価
アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。		a
評価コメント	指導計画策定の責任者は保育主任が務め、園独自のアセスメント様式で、マニュアルに沿った計画が策定されています。また、新人職員が家族と面談する際は、主任保育士が指導も兼ねて同席しています。	

43	Ⅲ-2-(2)-②	評価
定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		a
評価コメント	指導計画の評価見直しについては、毎月評価・反省・改善を行い、一人ひとりに合った教材や年齢にふさわしい内容を検討し、翌月の計画に反映しています。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-①	評価
子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		a
評価コメント	2週間単位で記録が出来る様式に、日々の保育記録が記載され、園長や主任が確認できるシステムになっています。また、保育内容に関する連絡会議には、すべての子どもの情報が提供され全職員で共有できるようになっています。	

45	Ⅲ-2-(3)-②	評価
子どもに関する記録の管理体制が確立している。		a
評価コメント	記録の管理についての規程があり、随時全職員へ指導が行われています。また、毎年4月の保護者説明会や途中入園の家族には、重要事項説明書も併せて説明を行っています。	

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成

46	A-1-(1)-①	評価
保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。		a
評価コメント	保育課程は、理念・保育方針に基づき、年間の反省や園の年間事業計画と連動させ作成しています。また、発達過程に応じた養護と教育、家庭との連携などについて考慮された計画となっています。	

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

47	A-1-(2)-①	評価
生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		b
評価コメント	園舎は、子どもが午睡する部屋と未満児の部屋のみエアコンが設置され、夏は自然の風と扇風機で対応し、熱中症対策として30分おきに水分補給を行っています。冬場はストーブを使用し、子ども達は、各部屋の畳のあるところでくつろいでいます。なお、黄砂やPM2.5等による大気汚染や熱中症対策のため、全室へのエアコン設置が望まれます。また、施設は建築後長期間を経過していますので、子どものプライバシーの保護や全体的な安全面の観点から、施設整備の検討が望まれます。	

48	A-1-(2)-②	評価
一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		a
評価コメント	保護者からの情報を元に、一人ひとりの子どもの発達過程や生活リズム等を十分に把握し、日々保育を行っています。毎月の職員会議で、園長から、指示命令ではなく、子どもの自主性を育むように声掛けをするようにと指導されています。	

49	A-1-(2)-③	評価
子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。		a
評価コメント	園の方針として障がいのある子どもも含め、子ども一人ひとりの気持ちや発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣や挨拶等を身につけるよう配慮・援助をしています。	

50	A-1-(2)-④	評価
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		a
評価コメント	週1日の縦割り保育を通して、年長児がお世話をするなど様々な活動ができるよう配慮されています。また、地域の催し会で、地域の方々とのふれあいを通して、園で力を入れている挨拶が自主的に出来るよう援助しています。	

51	A-1-(2)-⑤	評価
乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		非該当
評価コメント	同法人内に乳児保育所があるため、受け入れをしていません。	

52	A-1-(2)-⑥	評価
3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	養護と保育が一体的に展開できるように配慮しています。安全に配慮した環境設備のもと、基本的な生活が身に付くように援助され、発育に応じた教材を交換しながら、同年齢同士の連携も図り、保育内容や方法を工夫しています。	

53	A-1-(2)-⑦	評価
3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	近隣の小学生との世代間交流会や、週1日実施される縦割り保育は、兄弟がいない子どもにとって、お互いに思いやりや信頼感を体験する良い機会となっています。	

54	A-1-(2)-⑧	評価
障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	知的及び肢体に障がいのある子どもが在籍し、地域の児童発達支援事業所等に通うため、常に情報交換を行っています。また、来年は支援学校に通うため、バスに落ち着いて乗車できるように外部の関係者と検討を行っています。	

55	A-1-(2)-⑨	評価
長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a
評価コメント	延長保育において、保育士は絵本の読み聞かせ等で関わり、アレルギー疾患に配慮したおやつへの準備もされています。また、日々の家族との連携に関しては、連絡帳や迎えの際にその日の園での様子を伝えるようにしています。	

56	A-1-(2)-⑩	評価
小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		a
評価コメント	近隣の小学校とは毎月連絡会が行われ、また、子ども達が参加する小学校での交流会も年4回開催され、夏には小学校の教員が園を訪問する等、抵抗なく就学出来るよう配慮されています。	

A-1-(3) 健康管理

57	A-1-(3)-①	評価
子どもの健康管理を適切に行っている。		a
評価コメント	健康管理に関するマニュアルがあり、毎年4月の保護者面談の際に健康に関するヒヤリング等が行われています。また、保護者への情報提供については、保護者の意見を充分把握し、毎月「保健だより」を発行しています。	

58	A-1-(3)-②	評価
健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		a
評価コメント	健診結果は保護者に文書で報告され、毎月発行する「保健だより」にも健診や歯科検診の結果等を通知しています。また子どもが、規則正しい生活のリズムが取れるように「早起き」の協力を促しています。	

59	A-1-(3)-③	評価
アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		a
評価コメント	アレルギー疾患に関しては、入園児に給食職員も交え、家族やかかりつけ医師から、きめ細かく情報収集を行い、全職員で情報を共有しています。状況に応じて外部研修に参加しています。	

A-1-(4) 食事

60	A-1-(4)-①	評価
食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		a
評価コメント	調理員は、毎月、行政の栄養士の献立勉強会に参加しています。子どもたちが「食に関して興味を持ち、意欲的に安心して食べる」ことを目指して、年2回実施している家族向けの試食会時の情報等も参考に、献立を作成し保護者へ配布しています。	

61	A-1-(4)-②	評価
子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		a
評価コメント	園庭で収穫した、オクラ・ナス・キュウリ等を給食やおやつ等で食べています。また、近隣の農家で稲刈りしたお米を釜で炊いて、皆で食べる体験会を行う等、食育に関する取り組みを行っています。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

62	A-2-(1)-①	評価
子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		a
評価コメント	保護者のタイプに合わせ対応の仕方には配慮しています。園における子どもの生活が充実するように連絡帳や送迎時の対話で伝えたり、必要に応じて時間を設けて話し合うなど家庭との連携に努めています。	

A-2-(2) 保護者等の支援

63	A-2-(2)-①	評価
保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		a
評価コメント	常に、朝夕の送迎時に保護者への声掛けを心掛け、子育て相談等にも随時対応し、相談内容は正確に記録されています。	

64	A-2-(2)-②	評価
家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		b
評価コメント	園長より会議等を通じて、虐待に関し、子どもと保護者の状況変化に注意して観察するように指導が行われています。子どもの顔に傷があるなど虐待が疑われる場合は、保護者にヒアリング等を行い、関係機関に連絡調整を行っています。	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

65	A-3-(1)-①	評価
保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		a
評価コメント	毎月の職員会議時の業務の取り組みに関する自己評価や、2週間毎に提出するケース記録等での反省、年1回の園長との面談等を通じて、常に自らの保育実践を振り返り、専門的役割や課題を主体的にとらえる努力をしています。	